

特別展

舟と人類

アジア・オセアニアの海の暮らし



2025年9月4日〔木〕—12月9日〔火〕

会場 国立民族学博物館 特別展示館

〔主催〕国立民族学博物館 「特別協力」 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

〔協力〕海工房、NIHUグローバル地域研究プログラム海域アジア・オセアニア研究プロジェクト、

公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、鳥羽市立海の博物館、南山大学人類学博物館、東大阪市、

藤井寺市教育委員会、米原市教育委員会

〔後援〕東南アジア学会、東南アジア考古学会、日本オセアニア学会、ミクロネシア連邦大使館

スルー海（レーニア、1984年、撮影 門田修（海工房）

Special Exhibition
Humans and Boats: Maritime Life in Asia and Oceania



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

船の科学館

海の学び ミュージアムサポート

Supported by 公益財団法人 NIPOON EMB FOUNDATION

海日本
PROJECT



特別展

舟と人類

アジア・オセアニアの海の暮らし

2025年9月4日[木]—12月9日[火]

会場 国立民族学博物館 特別展示館

主催 国立民族学博物館 「特別協力」 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

協力 海工房、NIIHUGローバル地域研究プログラム海域アジア・オセアニア研究プロジェクト、公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、鳥羽市立海の博物館、南山大学人類学博物館、東大阪市、藤井寺市教育委員会、米原市教育委員会

後援 東南アジア学会、東南アジア考古学会、日本オセアニア学会、ミクロネシア連邦大使館

ネンボ（ペラカ）、1988年撮影（門田修海工房）

Special Exhibition
Humans and Boats: Maritime Life in Asia and Oceania



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

船の科学館
海の学び ミュージアムサポート
Supported by 公益財団法人 NIPPON EMB FOUNDATION

海国本
PROJECT

2025年9月4日[木]—12月9日[火]

会場 国立民族学博物館 特別展示館

主催 国立民族学博物館 「特別協力」 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

協力 海工房、N・H・U・グローバル地域研究プログラム海域アジア・オセアニア研究プロジェクト、公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、鳥羽市立海の博物館、南山大学人類学博物館、東大阪市、藤井寺市教育委員会、米原市教育委員会

後援 東南アジア学会、東南アジア考古学会、日本オセアニア学会、ミクロネシア連邦大使館

サタワルからサイパンへ向かうチヂエメ(1975年撮影 門田修「海工房」)

特別展

舟と人類

アジア・オセアニアの海の暮らし



Special Exhibition
Humans and Boats: Maritime Life in Asia and Oceania



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

船の科学館

海の学び

ミュージアムサポート

Supported by THE NIPPON
EDS FOUNDATION

海日本
PROJECT

特別展

舟と人類

アジア・オセアニアの海の暮らし

2025年9月4日〔木〕—12月9日〔火〕

会場 国立民族学博物館 特別展示館

主催 国立民族学博物館 「特別協力」 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

協力 海工房、NIIHUGローバル地域研究プログラム「海とアジア・オセアニア研究プロジェクト」

公益財団法人千里文化財団、国立科学博物館、鳥羽市立海の博物館、南山大学人類学博物館、東大阪市、藤井寺市教育委員会、米原市教育委員会

後援 東南アジア学会、東南アジア考古学会、日本オセアニア学会、ミクロネシア連邦大使館

ネンボ（スランカ）、1988年、撮影 門田修（海工房）

Special Exhibition
Humans and Boats: Maritime Life in Asia and Oceania



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

船の科学館
海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON
SEA FOUNDATION

海と人類
PROJECT

研究公演

「マオリの伝統芸能 カバハカ」

- 日時: 2025年9月27日(土) 13:30~15:40
- 出演: ナ・ハウ・エ・ファ(Nga Hau E Wha)
- 場所: みんばくインテリジェントホール(講堂)
- 事前申込制(先着順) / 要展示観覧券

みんばく映画会

「チェチェメニ号の冒険」

- 日時: 2025年11月29日(土) 13:30~16:15
- 司会: 小野林太郎(本館教授)
- 解説: 門田修(映像作家)、関野古晴(冒険家)、林和代(サタウル航海体験者)
- 場所: みんばくインテリジェントホール(講堂)
- 事前申込制(先着順) / 要展示観覧券

ワークショップ

「海の暮らしとバスケットリー——月桃ガンシナーづくり」

- 日時: 2025年11月1日(土)~2日(日) 各日 13:00~16:00
- 講師: 小野林太郎(本館教授)
- 指導: 池原美智子(石垣島 やちむん館工房 館長)
- 石塚輝美(石垣島 やちむん館工房 スタッフ)
- 場所: 本館1階エントランスホール、特別展示場

ほかにも楽しいワークショップなどを実施します。

みなさまのご参加をお待ちしております! イベント情報はこちら



みんばくウィークエンド・サロン—研究者と語ろう

「舟の人類史——移動・漁・信仰」

- 日時: 2025年9月14日(日) 14:30~15:15
- 講師: 小野林太郎(本館教授)

「古代日本の舟とその特徴——船形埴輪と出土船材からの検討」

- 日時: 2025年10月5日(日) 14:30~15:30
- 講師: 小野林太郎(本館教授)

宮原千波(総合研究大学院大学人類文化研究コース博士後期課程 / 日本学術振興会特別研究員DC1)

「宝物の貝と石を探して——オセアニアの海上交易と航海カヌー」

- 日時: 2025年11月23日(日・祝) 14:30~15:15
- 講師: 門馬一平(本館特任助教)

●いずれも申込不要 / 要展示観覧券 ●場所: ナビひろば

みんばくゼミナール

「アジア・オセアニアの舟と人類——みんばく舟資料からの検討」

- 日時: 2025年9月20日(土) 13:30~15:00
- 講師: 小野林太郎(本館教授)

「浮かぶ、走る、閉じこめる——乗りものとしての舟、船舶」

- 日時: 2025年11月15日(土) 13:30~15:00
- 講師: 飯田卓(本館教授)

●いずれも申込不要 / 参加無料 ●場所: みんばくインテリジェントホール(講堂)

友の会講演会

「海を越えた人類の移住と舟——海域アジア・オセアニアの事例から」

- 日時: 2025年10月4日(土) 13:30~15:00
- 講師: 小野林太郎(本館教授) ●場所: 本館第5セミナー室
- 参加費: 友の会会員無料、一般500円
- 事前申込制(先着順) ●定員: 70名 ※友の会会員に限りオンライン配信あり



ご利用案内

- 開館時間: 10時~17時(入館は16時30分まで) ●休館日: 水曜日
- 観覧料: 一般1,200円 / 大学生600円 / 高校生以下 無料
- ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。
- 2025年8月1日(金)から9月3日(水)まで、お得な前売りチケットを全国の主要コンビニまたは電子チケットで発売!

交通のご案内

- 大阪モノレール 「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス 阪急茨木駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。

最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんばくへ行くことお申し込みいただき、通行証をお受け取りください。※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



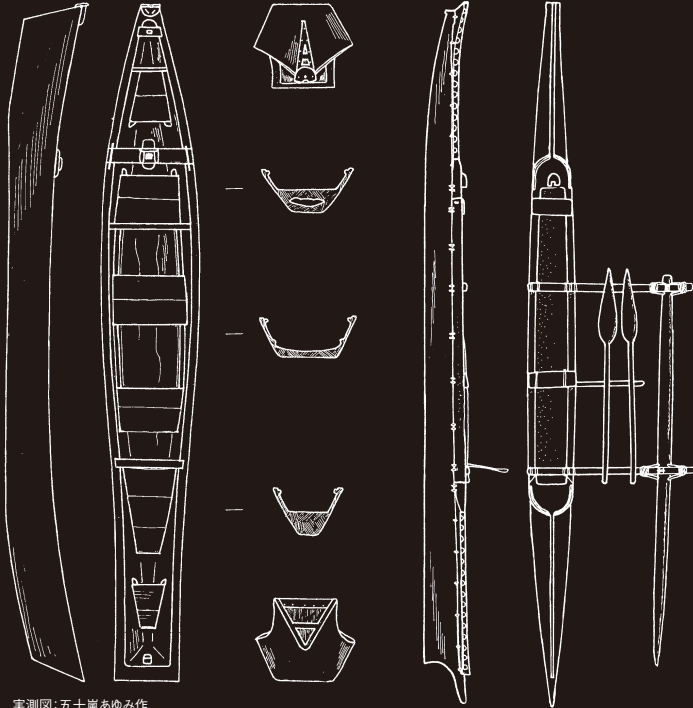
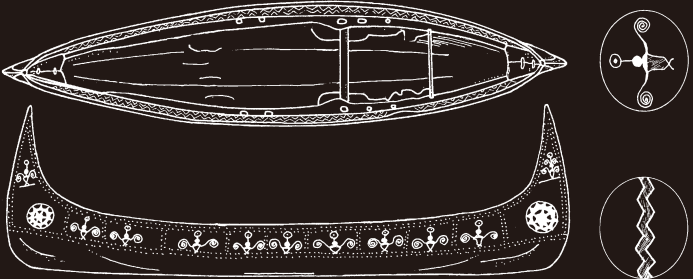
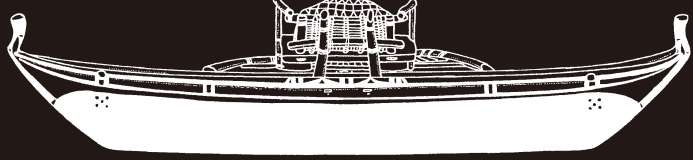
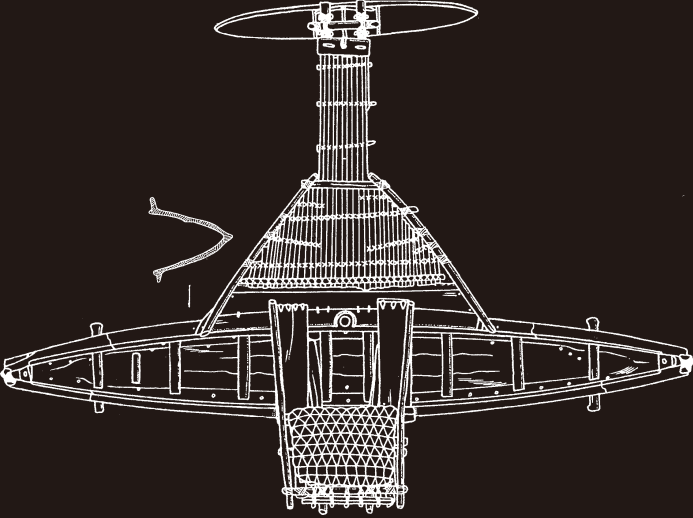
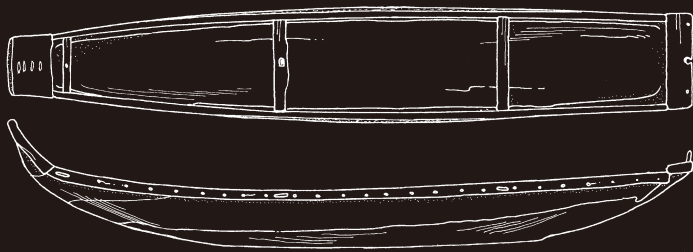
国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

関西から



POWER OF CULTURE

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401 <https://www.minpaku.ac.jp/>



実測図: 五十嵐あゆみ作

特別展
舟と人類
アジア・オセアニアの海の暮らし
Special Exhibition
Humans and Boats: Maritime Life in Asia and Oceania

舟はいつ誕生したのでしょうか? 人類史において舟やカヌーの出現とその本格的な利用は、私たちホモ・サピエンス以降だと言われています。本特別展では人類史的な視点から、本館が所蔵してきたアジアやオセアニアの海域世界における多様な舟を紹介いたします。また暮らしの中の舟にも注目してみました。舟をつくる道具やこぐ道具、漁撈で舟とともに使われる道具、舟による海上交易で運ばれるタカラたち、そしてあの世とこの世を行き来する精神世界における舟の役割。さあ舟と人類をめぐる旅に出航しましょう!